

TMR-300シリーズ (各種ユニット)

TMR-372 同期ユニット

TMR-211との同期測定を実現



TMR-372

仕様 TMR-372

同期可能ユニット	TMR-211
TMR-211接続台数	最大3台
複数台同期	最大4台(マスター含む) ・TMR-311×1台+TMR-211×3台 ・TMR-311×2台+TMR-211×2台 ・TMR-311×3台+TMR-211×1台 ※TMR-372は1システムで1台のみ使用可能、TMR-311が複数ある場合、必ずマスター側に接続する。 ※TMR-372を接続したTMR-311は、接続できるユニット数が9ユニットに制限される。
遅延時間	最速サンプリング100kHz(10μs)にてTMR-311から計測開始した場合、TMR-311のデータがTMR-211のデータに対して390μs遅延する。TMR-211から計測開始した場合、TMR-311のデータがTMR-211のデータに対して350μs遅延する。
表示	ユニット番号設定スイッチ
電源	0.25A MAX (12V) (TMR-311より供給)
使用温湿度範囲	0 ~ +50°C 85% RH 以下(結露は除く)
耐震性	29.4m/s ² (10 ~ 55Hz) 3方向
外形寸法	200(W) × 25(H) × 100(D) mm(突起部を除く)
質量	約500g(ゴムプロテクタ含む)

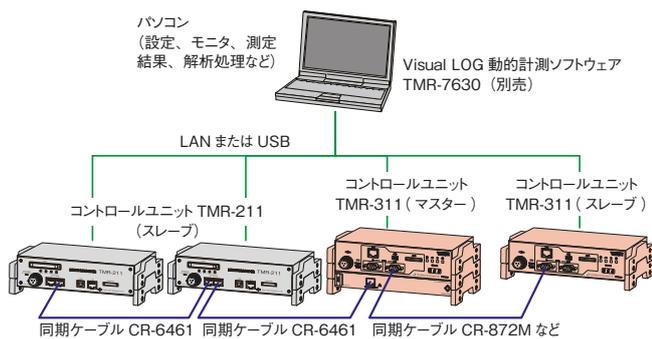
標準付属品

取扱説明書 (A3 ハツ折り)	1部
保証書	1部
コントロールケーブルCR-6490	1本
同期ケーブル CR-6461	1本

※ 同期ユニットを使用する場合には計測ソフトウェア「TMR-7630」を使用してください。

同期ユニットの接続

同期ユニットTMR-372は、TMR-300シリーズとTMR-200シリーズの同期測定を可能にするユニットです。コントロールユニットTMR-211を組合せ最大4台のサンプリング、トリガ同期測定ができます。



頻度解析ライブラリ TMR-311-01 (TMR-311のソフトウェアオプション)

マルチレコーダシステムTMR-300シリーズに頻度解析機能を追加するソフトウェアオプションです。あらかじめ設定されたプログラムに従って測定データをデジタル処理し、頻度数として記録するヒストグラムレコーディングシステムを表現します。

計測を行う前に頻度計測の設定を行う必要があります。頻度計測を行うチャンネルを指定し、解析法およびスライスレベル、フルスケールなどを設定します。頻度計測はサンプリング間隔1ms以上の低速モード時に最大80解析を実行することが可能です。また、同一のチャンネルを複数の解析法で設定することも可能です。

仕様 TMR-311-01

解析法	極大値・極小値法、最大値・最小値法、時間法、振幅法、レベルクロッシング法、レインフロー法
解析数	80解析(任意チャンネル)
スライス数	最大100(±100の範囲内で最大100スライスの任意設定)
フルスケール	200 ~ 20000 × 10 ⁻⁶ ひずみ
カウント容量	約42億カウント / スライス
無効振幅	4 ~ 5000 × 10 ⁻⁶ ひずみ(時間法以外の解析に有効)
ファイル機能	頻度データのファイル記録(一定間隔毎の頻度データファイル化、および累計の頻度データファイル化可能)

※ 解析条件として、サンプリング速度1msより低速かつ、SDカードが挿入されていること



表示ユニットTMR-381による頻度計測設定画面およびグラフ表示画面